



対岸にヨーロッパ最大のザポリージャ原子力発電所  
(ロシア領)



▼第5次ウクライナボランティア  
報告  
6月11日、24日、ポーランド国  
ワルシャワ経由で、ウクライナ国  
キーウ(キエフ)、ブチャ、イルピ  
ンなどを訪問。キーウ(キエフ)  
からバスで7時間、カホフカダム  
ダム(高さ30m、長さ3.2km)が決  
壊による被害現場ザポリージャ市  
を訪問。さらにザポリージャから  
約50キロ南のビシュチェタルシフ  
カ Vyschetsarsivka 村に向かった。  
向こう岸に原発が見える湖岸で漁  
の生計を立てている人口約3千人  
の村である。目的はダム問題と、

原発問題の考究である。  
6月6日、ダム爆破により、ダ  
ムの下流で洪水被害が続く一方、  
上流では洪水が深刻化している。  
ザポリージャ州、ヘルソン州、ド  
ニプロペトロウシク州にも広がる  
カホフカ貯水池(2155km<sup>2</sup> 琵琶  
湖670.4km<sup>2</sup>)のドニエプロ  
川、貯水池は干上がっていた。ア  
レキサンダー村長(60歳)が一匹  
も魚がとれなくなったと窮状を訴  
えた。  
村の人口も3分の一は移転した。  
砂防ダム checkdam 決壊、ダム放  
流が原因で水没被害の例は日本で  
も多い。しかし、ダム上流の枯渇  
で人々が生活できなくなるケー  
スははじめて遭遇した。  
おびただしい魚の死骸はダム破  
壊により水が干上がったせいなの  
か、それとも放射能汚染水の放流  
によるのか確かめたく日本から  
8000キロメートルを渡河した。  
残念なことにはロシア側が統治して  
いる原発側に近寄れないため、水  
棲生物の死骸と放流との関係は突  
き止めることはできなかった。洪  
水で下流では数百万トンの作物が  
損失。14人が死亡し、80の村の数  
十万人の飲み水に影響を及ぼした。

## ウクライナのザポリージャ訪問

多くの水鳥の繁殖地も失われた。  
浅瀬には生育する藍藻類も絶滅し  
ている。今、私たちに突きつけら  
れている問題はロシア・ウクライ  
ナ戦争のせいだと言い切れるだろ  
うか。  
どんなに技術が発達しても、原  
発、ダム、河川土木工事がもたら  
した悪について、人間は誇ること  
はできない。人類に貢献するどこ  
ろか自然生態の破壊の元凶になっ  
ている。

1 ビシュチェタルシフ村のアレキサンダー村長はドロー  
ンで被害を受けた村のコミュニティホールに案内。6月  
18日撮影。



2 "Umino" July 10, 2023 p.45  
「カヨ子基金」第5次ウクライナ訪問報告。



**ヤマザキ**

**世界のパン  
ヤマザキ**



Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115  
TEL 088-685-1151 (代表)

**MIYOSHI**

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341



想いをかたちに 未来へつなぐ

**TAKENAKA**

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13  
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

2023年7月11日 人吉市  
ラーメン竜の藤本豊彦&サカエ  
夫婦



左から大島健一郎、今村佳代子  
さん、野田健一、佐々木美和



佐賀県大町町にお住まいの今村佳代子さん。独居でいらっしゃるだけに、六角川の氾濫によって2回すんでのところ助かった。近所の飼犬はすべて死んだ。抱っこされているチャマだけが生き残った。7月10日も避難の用意をなさっていた。大町町の女性にとり水害はトラウマになっている。

## 第40次球磨川水害ボランティア

熊本支部長

大島健二郎

▼防災とは自助に頼れと言わんばかり

第40次球磨川（熊本豪雨）ボランティア（2023年7月8〜12日）に参加した。2020年7月4日、球磨川（熊本豪雨）が市房ダムの放流によって、熊本県人吉市は7㍓を超すドロで街全体が覆われた。関連死を含め81人の死者・行方不明者を出した。市の中心地である紺屋町にあった営業44年の藤本豊彦（75歳）&サカエ夫婦の経営するラーメン屋も2階にまでドロが覆った。私たちが3年前、二階に案内され嘔然とした。2023年7月4日再オープンしたばかりにちょうど再会した。5人でおもしろい味をたんのうした。



福岡県久留米市北野町 2023年7月10日



寺内ダム放流（福岡県朝倉市） 2023年7月10日



久留米市善導寺町 2023年7月10日

### （一社）神戸国際支縁機構

#### ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

#### 被災地への支縁物資をお願いします。

#### 年会費をお願いします。（月に200円）

会員（年度4月〜翌3月）の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

#### 海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

#### 郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

#### 三菱UFJ銀行

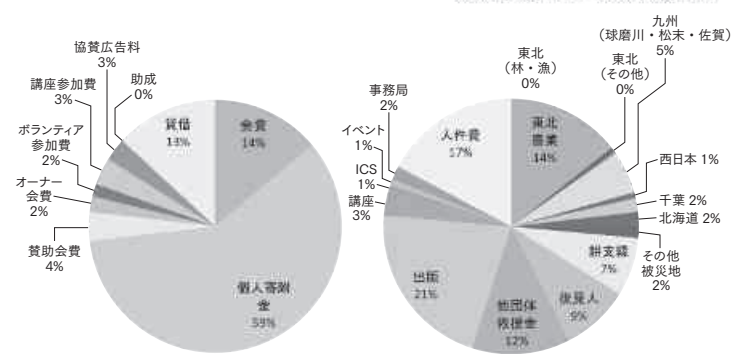
462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

#### 2022年度 神戸国際支縁機構（国内のみ）

2022年4月1日〜2023年3月31日



31年ぶり、  
ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』  
—2018年12月発行—

全国書店にて  
好評発売中です  
www.bible.or.jp  
日本聖書協会



湯川胃腸病院

胃腸科・内科・小児科・産婦人科・泌尿器科・皮膚科・アレルギー科

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号

TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1  
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

KINSAN

夢に近づく  
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター  
0120-111-019





『石巻日日新聞』  
(2023年5月17日付)



『牡鹿新聞』(2023年5月19日付)

自然と親しみ、子どもたちは見つける。ゲンゴロウ、オケラ、馬ビロなどがあるのも無農薬、有機の田んぼの特徴である。

北村恭男兄も常連ですから、自発的に動いてくださる。地元の方たちも差し入れをくださった。園児たちの田植えを見学に来られていた。取材した東北テレビも夕方報道した。

しい「復幸米」ができる。

年長組40名が走り回って、柔らかい素足で土を一層軟らかくする。するとイトミミズが生息するようになる。化学肥料、農薬なしにおいて

## 第142次東北ボランティア トロトロ層づくり、田植え

2023年4月14日～17日 代表 村上裕隆

雨天の神戸を発ち、東北ボランティアに向かった。何もたいしたことはできていない。宮城県石巻市渡波は142回目となる。稲刈り跡の田起の後、長浜幼稚園の園児たちと恒例のトロトロ層づくりと田植えである。東日本大震災後、12回目になる。

## 第38次球磨川(熊本豪雨)ボランティア

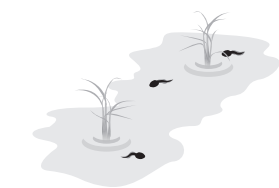
2023年5月18日～21日 代表 岩村義雄

をよみがえらせた。

なつめ保育園も園児たちと3回目のトロトロ層づくり、田植えである。自然の中でのびのびとはしゃぐ。「遊び」心も大人になる前に体験する良い「時」である。

英国からのシャクルトン先生はじめ7人が神戸から土をいじりに参加。※「時」の部首づくり「寺」は「手足を働かせる」が語源。

今日の日本、農家の跡継ぎがいない。「稲」を作らなくなっている。瑞穂の国と言われながら、朝食にごはんを食べる家庭も少なくなっている。「和」について忘れていく。「和」は「のぎへん」稲+口から成り立っている。凹凸がない平らな水田にトラクター、コンバイン、田植機などが支配している。人間が世話をしなくなってしまった。ウクライナの地獄を「平和」にするには、稲の自産自消



『日吉新聞』(2023年6月6日付)

## 『眞平家物語』五家荘の先祖(第八回)

熊本県球磨郡相良村教育長 緒方 俊一郎

清経から数えて第3代目を盛重という。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無 文治六十一年正月二十七日没ス遺言シテ記四郎ヲ推原 三郎ヲ久連子 兵部ヲ葉木ニ還ス」とあるので、幼い頃から病弱で、西暦1246年に亡くなったが、3人の息子をそれぞれ3つの集落に配置した。すなわち記四郎を推原に三郎を久連子に、兵部を葉木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・医療環境は粗悪な事であったと推察され、伝染病が入る」と次々に感染が拡大したのであろう。また治療法に頼るしかなかったであろう。従って感染症にかかり、あるいは病弱者などは短命であった事は当然である。

第4代目の盛行については「盛行・緒方記四郎ト称ス 文治八十五年(建長二年三月十三日ニ当ル)正月十八日 白鳥山ヲ出テ推原ニ還ル從是始メテ民ニ稼穡ヲ教ヘ工事ヲ教ユ同八十七年十月歿ス」

4代目になると五家荘の生活にも慣れ、盛行は一旦先祖が住み着いた白鳥山に戻って見たが推原が住み易かったのであらう、文治85年(1170年)と記録があるが、白鳥山から推原に還っている。このときに高梁(たかきび)あわ、ひえの種を手に入れ、焼畑農法を体系的に地域に広めたものと思われる。自給自足体制を整えて五家荘での生活を軌道に乗せたのである。盛行は推原に戻って2年後には亡くなっているが、何歳であったかは不明である。

なお、盛行の兄弟たちについての記述がある。

近盛・三郎ト称ス 兄ト同時ニ久連子ニ還ル強カアリ拳ヲ以テ石ヲ碎ク

近盛・盛数・刑部丞

實明・兵部ト称ス 兄ト同時に葉木ニ還ル其後阿波国源内ト云ウ処ニ還ルト云フ

弟の近盛は白鳥山から久連子に帰って住んだが、大変な力持ちであり拳で岩を砕くほどであったという。

また、實明は葉木に帰ったが、その後阿波の国(徳島県)の源内というところに行つたそうである。

(阿波国の源内について調べたが、徳島にはそのような地名は見られなかった。だが、祖谷溪は阿波の国に属し、五家荘に劣らず人跡まばらな深山であり、平家の落人伝説で有名なところ。このシリーズの第4回で述べたとおり、清経も一度はそこに入ったことがあると五家荘の伝説で伝えられている。それゆえ、實明が阿波の国に赴いた事実が推察される。)

このようにして、五家荘に住み着いた平氏の子孫は、推原、久連子、葉木に分かれて住むこととなり、先住者の菅原道真の子孫である左座氏のふたつの集落(樺木、仁田尾)と合わせて5つの集落を形成したのである。このようにして、壇ノ浦の戦いから100年ほど経過して五家荘の5つの村が確定し、五家荘の地名が確立したのであろう。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp



Humanity First

「ヒューマンティファスト」  
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人  
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長  
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑 3 丁目8番12号

## 事務局便り

新理事長 本田寿久

## ダム安全神話から脱却できない日本

日本の権力者は、天災だから不可抗力なんだ、あきらめなさい、と持ち込んでいるのではと、勘ぐってしまう。諦観のエトスを刷り込むために用いるひとつの弁法に、「激甚災害」、「線状降水帯」、「〇〇前線」という表現が乱舞する。安全神話の典型であった原子力発電所が真っ赤な偽りであったことを私たちは教訓を学んだだろうか。今、また福島県沿岸に放射能汚染水の放流がまかり通っている。「国際原子力機関」(International Atomic Energy Agency IAEA)、EU や韓国の指導者たちも是認するようになった。フクシマの地元の人たちですら安全でないと呼ぶ食品を世界は購入するという。

九州から神戸に戻って、今度は北陸、東北地方も梅雨前線で市街地が冠水、土砂崩れ、河川氾濫の見出しが新聞に踊る。氾濫した河川の上流にどんなダムがあるかをすぐに確認すればよい。ダム放流について見出すだろう。2018年7月7日、岡山県倉敷市真備町箭田の洪水発生と同時に第二福田小学校に炊き出しに訪問。6メートルを超える水害のため死者59人、行方不明8人の犠牲者が出た。海岸から10キロ以上離れた内陸での洪水である。河岸の堤防決壊にしてはおかしい。上流の成羽川ダム<sup>1</sup>に松本真祐さんと一緒に訪問し、ダム事務所長から放流の事実を確認した。瀬戸内工業地域に必要な工場用水のためにあるダムの放流により途中の高梁川流域でも家が流され、犠牲者が出

ていた。同年、9月、岩村代表はレバノンから北海道に直行した。マグニチュード6.7 死者42名、負傷者762人が出た。「苦東」は北海道苫小牧東部に位置する日本最大の工業基地である。工場用水用に建設された厚真ダムがある。日本の経済成長、発展のためにはダムは欠かせない存在なのだ。現場に行き、目撃したのは地震ではなく、厚真ダムからの放流によるおびただしい流木が北海道厚真川地区「厚真町・安平町・むかわ町」を襲っていた。

ダムを海外のようにつくらないようにすることは言うまでもない。河川工法も見直さなければならない。住宅地を守るためには川をゆっくり流れさせる防災の視座を政・官・財・学、メディアは覚醒してもらいたい。コンクリート工法で河岸、底を固めず、古来からの石積みならば水の流速を落とす効果があろう。水をやりすぎすようにすることを提言したい。すると水棲生物も蘇生し、郷土も復興するだろう。「田・山・湾の復活」である。都会から若者たちが戻り、少子化対策にもつながろう。子々孫々に美しい田舎の風景を残すことにも繋がることを願う。



1 「キリスト教と災害(2)「災害」から「復興」へ」『キリストチャントデイ』(2020年4月22日付)、<https://www.christiantoday.co.jp/articles/27979/20200422/christianity-and-disaster-2.htm>

2 2018年9月6日(水)3時7分、マグニチュード6.7 厚真地震(死者42名、負傷者762人)「苦東」は北海道苫小牧東部に位置する日本最大の工業基地の工場用水のために厚真ダムがある。日本の経済成長、発展のためにはダムは欠かせない存在なのだ。「技術至上主義は自然災害をもたらす」第1北海道地震ボランティア報告書」<http://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2017/08/6fd475dd9fe0e47f708cfe21a5a5d6.pdf>

3 「福音と世界」誌(「川と人間の相克と共生」2022年12月号30-35頁)。

## 救援金、維持会費ご協力感谢您。(敬称略)

2023年4月16日～7月15日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、佐々木美和、野田健二(5)、「小さくされた人々のための福音」講座、藤田 希、西本洋子、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、福地弥寿子、西上千栄子(2)、岩本久吉&眞子(福岡県松末)(2)、山下 寛&弘美、杉本佑一(3)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、富ひろみ、有田貞一&美栄子(3)、中央聖書神学校、村上安世、山本裕子、高木 保、黒川富秋、能城一郎、神戸新聞文化センター、磯辺基博、八尾和樹、武田喜久子、阿部和夫&斉子(宮城県石巻市)(2)、井上有希、新免 貢(2)、統一マダン、辻本久夫、本田寿久(2)、ミヨシ共栄株式会社、嶋田博信&礼子(千葉県布良)(2)、高橋秀典、(株)大塚製薬工場、愛沢伸雄(千葉県館山市)、宮本博美、飯原洋子、久原満里子、佐々木美代子、小谷福哲&由喜枝(千葉県布良)、関西学院大学、津久井 進、森 一郎、宝塚栄光教会(3)、岩間 洋&千恵子(3)、飛田雄一、大宮有博、本田清実(2)、山本陽子、岸田まさと、千田豊徳(宮城県石巻市光蔵寺住職)、ミヨシ油脂株式会社、北村恭男、緒方眞喜代(熊本県相良)、小笠原貞夫、橋本成年、金澤和夫、武田喜久子、金栄(株式会社アル)、湯川胃腸病院、石井泰代、櫻井由里子、久保田弘人(熊本県人吉市釜田醸造所)、萩本義郎、東原良学、神戸朝鮮高級学校、山崎製パン株式会社、栗原 健、泉 晴代、竹内喜子、木村ふみ子(宮城県石巻市)、渋谷孝江、今井祝雄、関西大学、伊藤直樹&ヨシ子(茨城県日光市)、土手ゆき子、土手 朋、千葉幸一(宮城県石巻市)(2)、前川和弥&幸子(2)、高橋宏和、星野尚子(2)、みとキリスト教会、植松智明、庄司慈明(宮城県石巻市)、白方誠彌、永野真治、中山圭子、武田多美、内貴千代子、平井一嘉、福寿恵美、公益財団法人神戸新聞厚生事業団、大島健二郎(4)、坂井純人、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、(株)竹中工務店、井本敦幸、玉の肌石鯉株式会社、村田義人、高 祐二、新井眞由美、第2回目神戸在住ウクライナ人の集い、徳留由美、相浦恵子、泉とも子、ミヨシ石鯉株式会社、日野謙一、楠元留美子、廣瀬素子、森 祐理、大田正紀、芦名定道、樋口麻美 507,771 円

フードバンク関西、佐々木貴子、尾島淳義、水谷弥生から菓子、嶋田政雄からコーヒー詰め合わせ、山田慧子(宮城県石巻市)からたけのこご飯、阿部勝&昭子(宮城県石巻市)から茶飲料、馬部省一&智美から魚のアラ、(株)チュチュアンナから靴下、東垂水ルーテル教会から茶飲料、前川和弥&幸子から菓子詰め合わせ、鳥越肖男&光子(熊本県人吉市)からあさひ温泉券、安 正祐からジャージャー麺、海苔、小谷登志江(千葉県布良)から赤じそジュース、新堀隆義&美恵子から梅シロップ、黒川菊栄(千葉県布良)からバナナ、安房文化遺産フォーラムから菓子、愛沢伸雄(千葉県館山市)から書籍、菊地敬子(宮城県渡波)からクッション、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からオロナミンC、本田敏子(宮城県石巻市)からわさびのり、遠藤トシ江(宮城県石巻市)から菓子、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔等。木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)からたくさんの創作品、武藤優子からマスク、長野晶朗からナッツ、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松末)から高菜漬、梶原ミヌミ(松末)からしいたけ、樋口喜寿江、梶原征子(松末)からコーヒーマシ、岩見照也(熊本県相良)から補植用苗、井出洋子(福岡県松末)からどらやき、山崎留美子から手作りのハガキと切手、小西淑子から切手、大島 修&敏子から桃

## 本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日

午前10時～

神戸学生青年センター

本館1階

## 岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日

午後6時半～

ミント神戸17階

## 編集後記

今後の活動を支える財政基盤の安定確保に関連してですが、現在、市民層の貯蓄高がかなり低くなっていて、しかも、いろいろな縛りがあって自由に発言、行動することが困難になっているように思います。他団体との渉外は現状維持でたいせつにすることが財政安定にもつながります。被災地からの生の声に応える仕方で活動を特化することがゆくゆくは寄与するでしょう。

理事 新免 貢